

□ ■ 深刻化するタイの格差社会 ■ □



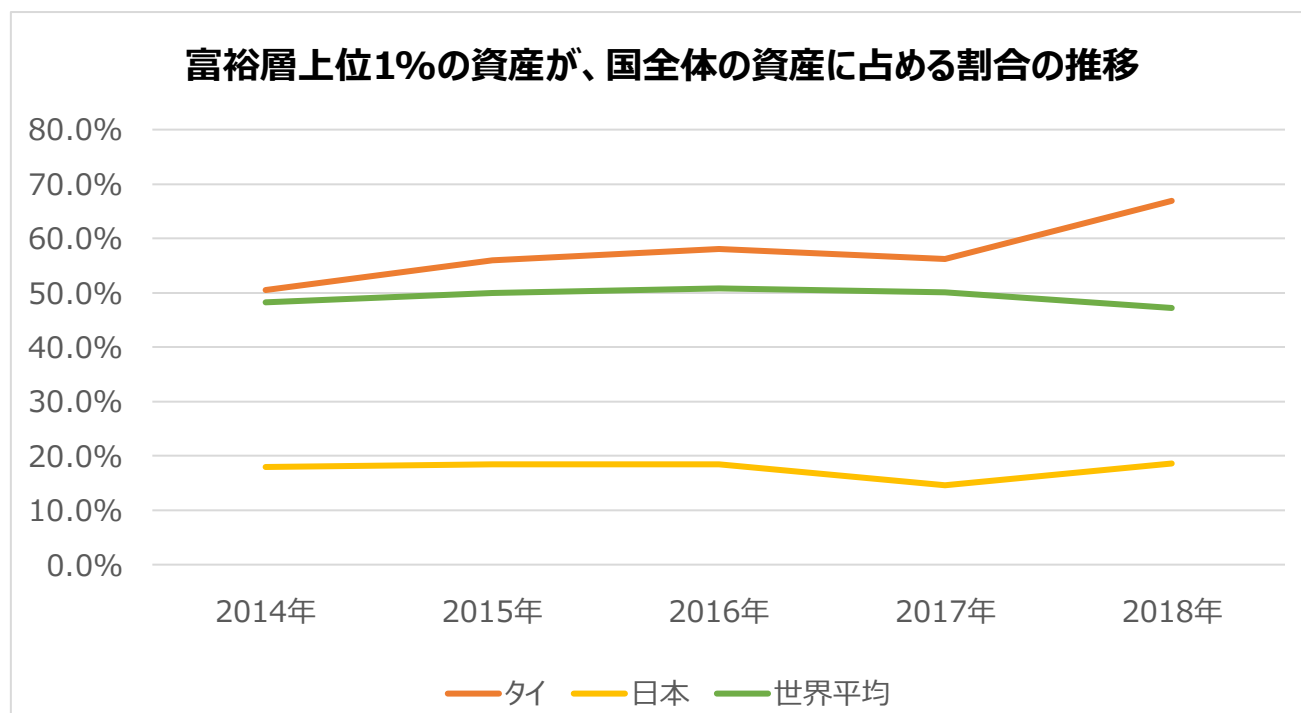
こんにちは、島根・ビジネスサポート・オフィスの柴田です。

バンコクで2020年7月から、特に若年層が中心になって断続的に行われている反体制デモですが、現在のタイの格差社会に対して貧困層が持つ不満が、デモが起こる発端のひとつとなったと言われています。コロナウイルス流行以前から、貧富の差が大きな社会問題となっていたタイですが、コロナ禍の経済低迷により、タイの貧困層の生活環境は悪化し、この格差が更に広がっています。

今回はタイにおける格差社会についてお伝えいたします。

【富を増やし続けるタイの富裕層】

スイスに本社を置くユニバーサルバンク「クレディ・スイス」が2018年に発表した「Global Wealth Report」によると、タイの富裕層上位1%が所有する資産が、国全体の資産のうち約67%を占めているとされています。この数字は、対象となった40カ国のうちもっとも高く、日本が約19%であることを考えると、いかに、たった一握りの富裕層の元に資産が集中しているかがわかります。



出典：クレディ・スイス「Global Wealth Report」

<https://www.credit-suisse.com/corporate/en/research/research-institute/global-wealth-report.html>

上の表を見ると、タイは2017年に一度割合が減少してはいるものの、常に50%以上をキープ。ランキングでも2014年から2018年まで毎年トップ5カ国にランクインしています。その一方で、世界平均を見ると、ほぼ横ばいで推移しており、2018年には50%を下回り、47.2%となっています。このクレディ・スイス社のレポートでも「世界的に富の格差が縮小傾向にある」と述べられている中で、タイはその世界的な流れに逆行をしていると言えます。

このレポートについては、発表された2018年当時にタイメディアでも取り上げられ、改めて貧困層と富裕層の間に大きな隔たりがあり、タイの最大の問題であると国中に示されることとなりました。

【貧困層に募る格差への不満】

前述の通り、コロナ前から顕在化していたタイの格差社会ですが、コロナ禍により、特に貧困層の生活に大きな打撃を与えており、その格差は広まる一方です。

世界銀行の発表によると、コロナにより経済的な打撃を受けた2020年のタイにおいて、貧困状態にある人は、2019年の約370万人から約150万人増加し、トータルで約520万人になったとされます。「貧困状態」とは、1日の収入が1人あたり5.5米ドル、約165バーツ以下と世界銀行により定義されています。

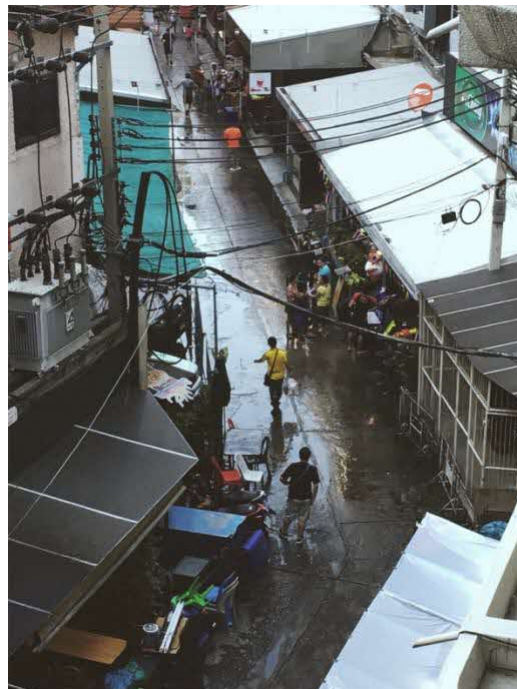
また、コロナの影響で国内の失業率も悪化をしています。コロナのタイ国内での流行前の2020年第1四半期までは1.0%前後で推移していた失業率が、3月下旬に始まったコロナの国内第1波の影響により、同年第2四半期には2.0%まで上昇。その後も2.0%近くで推移をし、21年の第3四半期には、コロナ流行後で最も高い水準である2.3%まで悪化しました。

失業率2.0%という数字は高くないようにも思われますが、コロナ以前は安定して1.0%程度で推移をしていたこと、失業者の中には若者も多く含まれており、当時の先行きが見えない現状に不満を募らせる原因となりました。

また、経済的な問題だけでなく、富裕層への大きな批判的となっているのが、富裕層に対する法的な措置が適切に取られていない、という現状です。

批判の声が大きくなった1つのきっかけが、2012年に起きたエナジードリンク「レッドブル」の製造販売をしているTCファーマシューティカル・インダストリーズ（TCP）の御曹司が容疑者とされている、ひき逃げ死亡事件です。TCP創業者の孫であるウオラユット氏が、高級車フェラーリで警察官をひき、死亡させた疑いがかけられました。事故当時フェラーリは170キロの速度で走行しており、同氏からはアルコールの他、コカインが検出されたため、同氏は一度は身柄を拘束されましたが、保釈されるとそれ以降の出廷を拒否し、国外へ逃亡しました。

2017年には逮捕状が交付され、国際手配となりましたが、ウオラユット氏の国外逃亡により長らく進展がありませんでした。しかし、その後2020年7月、事件の新たな目撃者による証言により、ウオラユット氏の訴追が取り下げられると、国民はこの決定に、「大富豪には公正な捜査が行われぬ」と猛反発をし、政府は大きな批判を受けることとなりました。



2022年7月

ウォラユット氏の祖父で TCP グループの創業者であるチャーム・ユウウィタヤー氏は、米経済誌フォーブスの長者番付でタイ 2 位の大富豪であり、TCP が政府に巨額の寄付をしている、という情報が広まったことが、国民の政府批判に拍車をかけました。世論の猛反発を受け、検察は捜査の打ち切りを見直し、もう一度捜査を行う方針に転換、新たに逮捕状の発行をするなど対応に追われました。

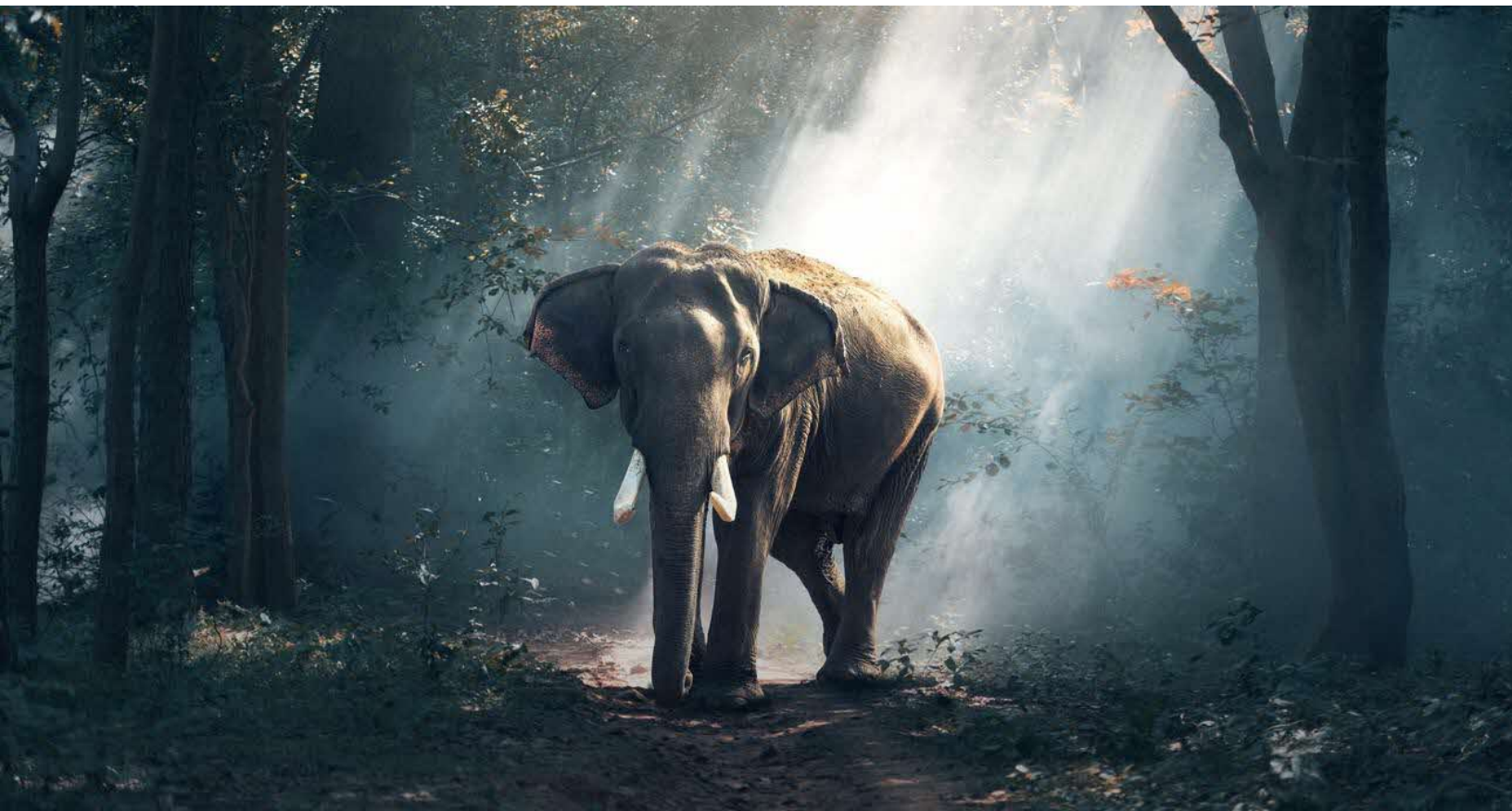
この事件により、レッドブルの不買運動が広まるなど、企業としても大きな影響を受けることとなりました。

この事例の他にも、タイ国内で農業、食品、通信、不動産など幅広い分野に進出し、事業を展開しているタイの財閥である CP グループという企業が、2015 年に「タイの富を独占している」という国民の反発を受け、運営する「セブン・イレブン」の不買運動が巻き起こるなどといった事例も過去に発生しています。

【最後に】

タイの格差問題は根深く、バンコクを含む一部の都市とその他地方との格差や教育格差など、様々な問題が要因となって起こっています。このまま政府が何も手をうつことがなければ、貧富の差は広がる一方であると思われます。コロナの影響により、国内の貧富の差がより鮮明になり、国民の政府に対する不満も高まる現在のタイ。これからの政府および反体制デモ陣営の双方がどのように動くのか、注視が必要です。

□ ■ タイ発！世界一高級なゾウコーヒー「ブラック・アイボリー」 ■ □



こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスのタイ人スタッフ、グラフです。

世界的に知られている高級なコーヒー豆について、インドネシア産のジャコウネココーヒー（コピ・ルアク）をご存知の方は多いのではないのでしょうか。

※ジャコウネコのコーヒーとはジャコウネコの糞から採られる未消化のコーヒー豆のことです。

実は現在、新しい種類のタイ産のコーヒー豆が世界的に注目され始めています。それが、タイのゾウの糞から採れるコーヒー豆から作られた高級コーヒー「ブラック・アイボリー」です。インドネシア産のジャコウネココーヒーが世界一高いコーヒー豆かと思いきや、実は、このゾウのコーヒーの方が高価で、現在世界で最も高価なコーヒー豆とされています。ゾウのコーヒー豆はどのような特徴を持つのか、その作り方、値段などをご紹介します。

■ブラック・アイボリーの歴史



ゾウのコーヒー豆の歴史は、20年前（当時2002年）のタイのチェンライ県から始まりました。タイに住んでいるカナダ人のブレイク・デインキン氏は、10年間にわたり、保護したゾウを世話する施設である「黄金の三角地帯アジアゾウ財団」(Golden Triangle Asian Elephant Foundation) で、ゾウのコーヒーを開発するために、コーヒーの実（コーヒーチェリー）をゾウに食べさせて、糞から未消化のコーヒー豆を採取することをしました。

研究の結果、質の高いコーヒー豆が採取できることがわかり、「ブラック・アイボリー・コーヒー」というブランドを立ち上げ、コーヒーの販売を始めました。それ以来、ブラック・アイボリーのコーヒーは「タイのゾウから作られたコーヒー」として世界的に高く評価されています。

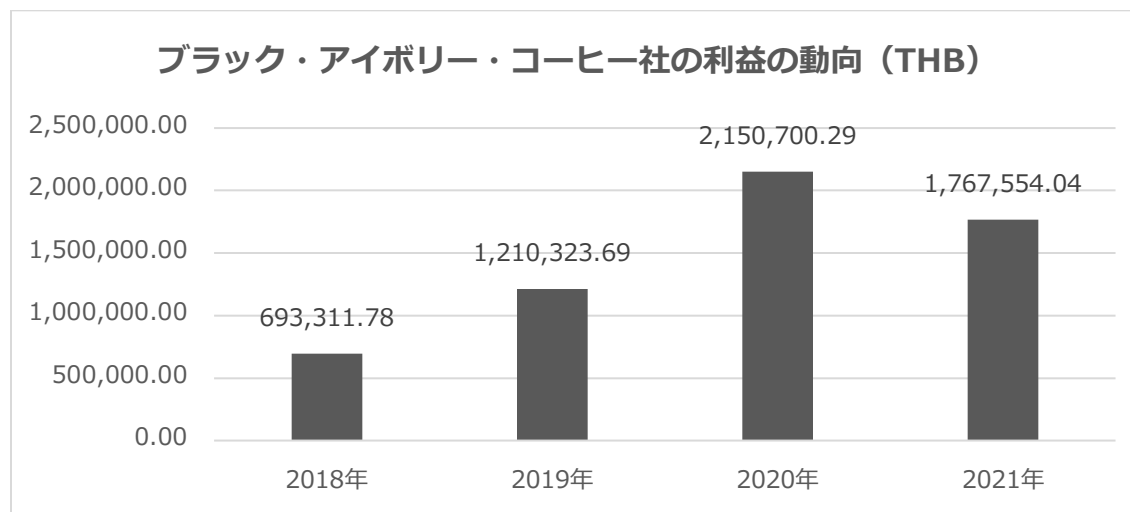
■ブラック・アイボリー・コーヒー社の情報

項目	内容
社名	BLACK IVORY COFFEE CO.,LTD.
設立日	2012年9月18日
資本金	200万バーツ（約759万円（2022年8月9日時点の両替レート））
住所	1108/31 Sukhumvit Road, Khlong Toei, Bangkok, Thailand 10110
電話	+66 (0) 89 214 1460
HP	https://blackivorycoffee.com



出典：タイ王国商務省、Blackivorycoffee.com

■ブラック・アイボリー・コーヒー社の利益の動向



出典：タイ王国商務省

■ゾウのコーヒー豆の生産方法

ゾウのコーヒー豆の生産方法は、まず、タイ産のアラビカコーヒーの実をゾウに餌として食べさせます。そして、ゾウの胃内にある消化酵素がコーヒーの実に含まれる、苦味を発生させるタンパク質を分解します。苦味を発生させるタンパク質の減少により、コーヒーの実の苦味もやわらかくなります。

その結果、独特な風味を持つコーヒーの実が生まれます。タンパク質の消化プロセスにかかる時間はゾウの胃の中にある餌の量によって幅がありますが、おおよそ 12 時間から 72 時間ほどかかります。消化プロセスを経た独特な風味のするコーヒーの実がゾウの排泄物と一緒に出てきます。コーヒーの実の分別プロセスの後、コーヒーの実を水できれいな状態に洗浄し乾燥させたら、ゾウのコーヒーの豆が出来上がります。

■ゾウのコーヒー豆の価格について

情報発信サイトの PassionBuz に掲載された世界の高級なコーヒーランキングによると、ブラック・アイボリーは、2022 年現在、世界で最も高価だとされています。1 kg 当たり 1.3 万バーツ (約 4.9 万円) のインドネシア産のジャコウネココーヒーに対して、ブラック・アイボリーの価格は 1 kg 当たり 8 万バーツ (約 30 万円) と約 6 倍で販売されています。主に 5 つ星の高級ホテルでよく使用されています。

なぜこのゾウのコーヒーがこれほどまでに高価なのか、という点ですが、その理由は、生産の困難さが挙げられます。ゾウがコーヒー豆を食べたとしても、1kg のゾウの糞を生み出すために、33kg のコーヒーの実が必要です。

また、コーヒーの実を食べるときに細かく噛み砕かれ使えない状態になる場合もあります。その困難な生産方法のため、生産力は1年間200kg程度しかコーヒーが作れないのです。また、コーヒーの実を素直に食べてくれるゾウの数が少ないことも、大きな理由の1つとなっています。

肝心の「ブラック・アイボリー」、ゾウのコーヒーの味ですが、普通のコーヒーと比べ、苦味が少なく、チョコレートやモルト、香料、草の香りがすると言われています。

■最後に

このゾウコーヒーはまだ世に出たばかりで、生産量が少なく、生産の効率化もまだ始まった段階ですが、これからどんどん生産量が多くなり普通の人でも手軽に飲めるようになると考えられます。

ゾウのコーヒーはタイローカルの資源に、海外のクリエイティブなアイデアを取り入れて、新たな商品を生み出した一つの事例です。タイには自然、資源がたくさんありますので、海外のクリエイティブなアイデアを組み合わせれば、まだまだたくさんの新しいビジネスを生み出すことができます。日本も新しいことを開発する精神が高い国民性なので、日本国内だけではなく、タイをはじめとするASEANに目を向け、新しいビジネスチャンスを探してみたいかがでしょうか。

□ ■ タイの豊かな自然を満喫！ サラブリー県の魅力 ■ □

こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスのタイ人スタッフ、ニンです。

7月中旬の連休を利用して、都会の喧騒から逃れて友人とサラブリー県に観光に行ってきました。小雨が降る中、サラブリー県の緑の絶景を楽しみながら、観光地を巡りました。とてもリラックス、リフレッシュができた旅になりました。今回は、多くて豊かな自然がある都市、タイのサラブリー県の観光スポットについてご紹介したいと思います。

【サラブリー県とは？】

サラブリー県はタイの中部地方、バンコクから車で約2時間の距離に位置します。バンコクから日帰りの観光も可能です。面積は3576.5平方キロメートルで、県の公式サイトによると2020年時点の人口は約637,600人です。サラブリーという県名の語源は、「沼の町」から来ていると言われています。

【サラブリー県の人気観光スポット】

サラブリー県は国立公園や、古代寺院、酪農場などがある都市のため、観光地はたくさんありますが、人気観光スポットは以下の通りです。

○ナムトクチェットサオノイ国立公園

ナムトクチェットサオノイ国立公園は、サラブリー県の有名な自然観光地です。国立公園内にはナムトクチェットサオノイという、7つの滝が連なり層になった美しい滝です。ナムトクチェットサオノイ国立公園では、キャンプや滝での水遊びなどができます。天気が良く、滝の水量がちょうどいい11月～2頃は、ナムトクチェットサオノイ国立公園を観光するにはベストシーズンです。



○Jedkod Pongkonsao Natural Study&Eco Center



Jedkod Pongkonsao Natural Study&Eco Center は、自然を満喫できる最高のキャンプ場です。センター内で、昼間はサイクリングや、ハイキング、滝などを楽しむことができます。夜には美しい星空を眺めることもでき、タイの自然を満喫するには最適な観光地です。

○ワット・プラ・プッタチャーイ

ワット・プラ・プッタチャーイは、仏足跡（仏陀の足跡）が発見された場所として有名なタイの寺院です。17世紀初頭、当時のアユタヤ王朝のソンタム王がこの辺に仏足跡があると聞いたため、探せと命令を出し、この山頂で発見されたという伝記があるお寺です。

ワット・プラ・プッタチャーイは、山頂に位置するため、寺院からサラブリの美しい景色を一望することができます。



○タイ・デンマーク酪農場

タイ・デンマーク酪農場はタイの大手酪農で、2,700 ライ（1 ライ = 1600 m²）の面積があります。

農場内では、牛の乳搾り体験や、子牛のミルクやり体験、カウボーイショーなどを楽しむことができます。また、酪農場の中には、ヨーグルトやアイスクリームなどの乳製品を売っているお店もあるので、お土産として購入するのにおすすめです。

○ひまわり畑

サラブリー県は、タイ中部の最大のひまわり生産地のため、県内にはたくさんのひまわり畑があります。

サラブリー県のムアクレクやワンムアンの国道沿いの両側には、ひまわり畑が並んでいるので、ドライブをしながら美しいひまわり畑を楽しむことができます。



ひまわり畑の満開の時期は 11～1月頃です。

【最後に】

サラブリー県は、歴史的な観光地もありながら、自然も満喫でき、更には県ならではの郷土料理も楽しめるなど、魅力が詰まった観光地です。バンコクから車で行くことができる、その立地も魅力の1つです。特に暑さが弱まり天気も良い11月から1月にかけてはサラブリー県のベストシーズンですので、バンコクの観光地に行き尽くした方、タイの自然を満喫したい方は、ぜひ一度サラブリー県へ訪れてみてはいかがでしょうか。

※別紙に、年内に開催予定のタイ・インドネシア・ベトナムの展示会情報をまとめました。
サポートオフィスでは、現地で開催される展示会へのアテンドも行っております。
関心のある展示会がございましたら、お気軽にご連絡ください。

担当	: 神谷 靖子 Yasuko Kamiya
Address	: 1 VASU1 Building, 12 FL., Room 1202/D, Soi Sukhumvit 25, Sukhumvit Rd., Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok 10110
Tel	: +66-(0)-2-261-1058
Mobile	: +66-(0)-89-200-7763
Mail	: shimane-bizsup@aapth.com

▶ タイ経済指標

項目	単位	2019	2020	2021	2022
GDP 成長率	前年比 (%)	2.4	-6.2	1.8	2.2 (1~3月)
人口*	千人	68,021	68,152	68,161 (1月)	68,161 (21年1月)
労働者の数*	千人	38,207	39,451	38,631	39,618 (3月)
失業率**	%	0.99	1.62	1.94	1.53 (1~3月)
最低賃金* バンコク	バーツ/日	325	331	331	331
チョンブリー		330	336	336	336
アユタヤー		320	325	325	325
ラヨン		330	335	335	335
賃金：全国製造業の平均	バーツ	13,131	13,562	13,506	14,356 (1~3月)
インフレ率**	前年比 (%)	0.71	-0.84	1.24	5.61 (6月)
中央銀行政策金利*	%	1.25	0.50	0.50	0.75 (8月)
普通貯金率**	%	0.47	0.31	0.25	0.25 (7月)
ローン金利(MLR) **	%	6.29	5.60	5.42	5.42 (7月)
SET 指数*	1975年：100	1,579.84	1,449.35	1,657.62	1,576.41 (7月)
バーツ/100円**	バーツ	28.48	29.33	29.15	27.37 (7月)
バーツ/米ドル**	バーツ	31.05	31.29	31.98	34.10 (7月)
円/米ドル**	円	109	106.8	109.8	124.84 (6月)
車販売台数 (1月からの累計)	台数	1,019,602	779,857	736,716	446,759 (6月)
BOI 認可プロジェクト	件数	1,500	1,501	1,572	327 (22年3月)
BOI 認可プロジェクト金額	10億バーツ	447.36	361.41	511.9	88.72 (22年3月)

*期末、**平均